すれたうえきまちに 本りようとう ナナン大 なってってすらすい

为之外,方法大臣去 うス系のあいいいれ りっとちまるようはれる あて人民感所養力

モシレカろり電のみし日 "シテスタな光表"でなべ 成按核推京下面外

松、及と就しる情食上共 者內次一是其事類多 同,按撰弘己,传補

拉色中下情受力如

東に子とれれよう、万衣 ノ水配をラントの辛は提 情内答察け上き被写 第七年,如中名元 什么大成年代大人 按小孩只第五天 の子のななない

は下一八号松了作了外 the water of the bare 中人人は大気のより云 はきせけるころ 以友はいる了情 辺は勅選議員の初回選任で議員に選ばれ、 として尽力を求めている。渡辺は八月二十 決定が遅れていることを報じ、自分は現在 るよう訴えたものである。候補者が「内決 貴族院勅選議員として内閣に推薦してくれ 二十九年に死去するまで在任した。 らぬ期待をかけていたことが知られる。 の定員より頗る多数」に及んでいるため、 に対し七月十八日に発した使書で、

大木喬任宛渡辺驥書翰 (明治 [二十三] 年七月十八日

(写真は部分。全文翻刻は本号五七頁掲載 (「大木喬任関係文書」479--19)

明治二十三年(一八九〇)夏、第一回帝

挙・選任が始まった。最初に行なわれたの 国議会の開設を控えて、貴族院議員の選

選挙 員・公爵・侯爵議員は法定資格で任ぜられ 員の選挙が七月十日に実施された。皇族議 は多額納税者議員(通称「長者議員」) (六月十日)で、伯爵・子爵・男爵議 0)

十九名が選任された(十月一日と二十四日 たのが勅選議員の任命で九月二十九日に五 るので選挙・選任はない。最後に行なわれ

されるが、 の名で任命する仕組みである。 に各一名を追加)。形式上は天皇の勅選と 実際は内閣が銓衡した者を天皇

この書状は渡辺驥元老院議官が大木喬任 自分を

頼らなければ忽ち候補から外されてしまう の内閣に知名度が低いため、大木の助力に

界を代表する人物としての発言力に並々な 四日にも重ねて同様の書状を大木に送って 大木が持つ準元勲的な影響力・司法

(佐々木隆

福

义 録

七月十八八八世族

大木公图下

(58)